

平成 23 年 11 月 18 日
電源開発株式会社

当社の新宮川水系のダム操作に関する技術検討会の設置について

1. 設置趣旨

平成 23 年 9 月上旬に襲来した台風 12 号により、新宮川水系において甚大な洪水災害が発生し、地域の皆様から当社のダム操作に対する疑問や見直し要請が多く寄せられました。

当社としましては、これらの地域の皆様の声を真摯に受け止めて、台風 12 号におけるダム操作等について検証を行うべく検討会を設置することといたします。

なお、検証にあたっては学識者、河川管理者のご意見、ご指導を仰ぎながら進めて参ります。

2. 検討内容骨子

当社が新宮川水系に所有するダムの操作等について、台風 12 号を対象に様々な視点からご意見を頂き検証するとともに、以下の事項について検討することを目的としています。

- ・ダム操作等に関する現状確認・改善
- ・新宮川水系における情報伝達に関する現状確認・改善

3. 当面の活動予定

平成 23 年 11 月末～平成 24 年 4 月の期間に 3 回程度検討会を開催して中間報告を取り纏める予定です。

中間報告を取り纏めた段階で、地元市町村等への説明を予定しています。

4. 委員

本検討会は、学識者、国（国土交通省近畿地方整備局）、和歌山県、奈良県、三重県、当社で構成します。池淵周一 京都大学名誉教授（元京都大学防災研究所長）に委員長を、学識者として気象予測、流出解析、ダム操作・情報伝達分野の専門家に委員を委嘱する予定です。

以上